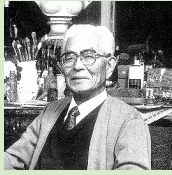
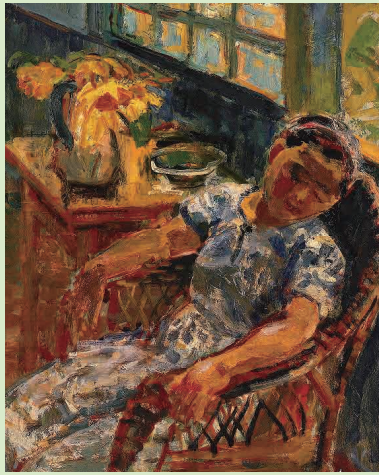


## 西山真一 profile

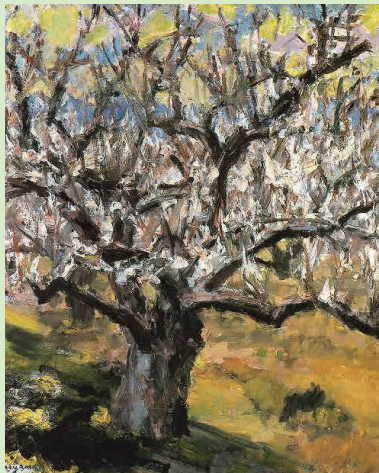
Shinichi Nishiyama



- 1906年(明治39年) 福井県鯖江市(旧今立郡片上村四方谷)に生まれる
- 1926年(大正15年) 福井県師範学校卒業
- 福井県今立郡岡本尋常高等小学校に奉職
- 1930年(昭和5年) 上京し、自由ヶ丘研究所(光風会会員河合清一経営)に入所
- 1931年(昭和6年) 鈴木千久馬に師事
- 第12回帝展に《初秋風景》を出品、初入選
- 1947年(昭和22年) この年より辻永に師事
- 1949年(昭和24年) 第5回日展に《夏日》を出品、特選受賞
- 1954年(昭和29年) 渡仏し、グラン・ショミエールにて修学(翌年帰国)
- 1956年(昭和31年) 第12回日展に審査員を務め《サンジャック通りの壁》を発表、政府買い上げとなる
- 1973年(昭和48年) 第5回改組日展に《トレド風景》を発表、文部大臣賞受賞
- 1980年(昭和55年) 前年発表の《六月の頃》などにより日本芸術院賞受賞
- 1983年(昭和58年) 勲四等旭日小綬賞を受賞
- 1984年(昭和59年) 日本芸術院会員に任命される
- 1985年(昭和60年) 日展顧問に就任
- 1989年(平成元年) 4月19日死去(82歳)
- 正五位勲三等瑞宝章を贈られる
- 86点の遺作を鯖江市に寄贈



西山真一《夏日》1949年



西山真一《東風》1983年



西山松生《家族の庭》2015年



西山松生《啓蟄》2019年

自然を真正面から見つめ、その中に満ちる命の躍動や胎動を豪快な筆致で描き出し、独自の画境を切り拓いた鯖江市出身の洋画家・西山真一(1906-1989)。卓越した表現力と確かな画面構成により、芸術院会員として昭和初期の洋画画壇を牽引した西山真一は、2026年に生誕120年を迎えます。

これを記念し、西山真一と、父・真一を間近で支えながら、自らも日展や光風会を中心に活躍した同じく鯖江市出身の洋画家・西山松生(1941-2024)の2人の画業を紹介する親子展を開催します。

自然のもつ凄まじさと崇高さを真正面から受け止め、質実剛健に不動の美を追究した西山真一。一方、人物を主題に、家族や自然など身近で愛おしい情景を、生命力あふれる描写で表現した西山松生。表現の方向性は異なりながらも、「すべては自然に、すべては現場に」という現場主義の哲学は、親子2人に共通する創作の根幹にあります。

本展では、昭和初期から現代に至るまで、親子二代にわたる創作の軌跡をたどりながら、それぞれの自然へのまなざしと絵画表現の深化をひもといていきます。また今回は、ご遺族より寄贈された西山松生作品40点余を展示し、その画業の集大成を紹介します。

最新情報は  
こちら



# 西山真一 生誕120年記念 西山真一・ 松生親子展

2026.4.25 sat — 5.10 sun

9:00~17:00(入場は16:30まで)※4.25は10:00~  
休館日4.27(月)

## 西山松生 profile

Matsuo Nishiyama



- 1941年(昭和16年) 西山真一(洋画家、日本芸術院会員)の三男に生まれる
- 1954年(昭和29年) 福井県片上小学校を卒業、鯖江中学校に入学
- 1961年(昭和36年) 東京芸術大学油画科に入学 山口薫、林武、牛島憲之に師事
- 1967年(昭和42年) 東京芸術大学大学院油画専攻修了
- 1970年(昭和45年) 日展初入選《ひととき》
- 1972年(昭和47年) フランスへ留学(1973年帰国)
- 1981年(昭和56年) 日展特選受賞《編みもの》
- 1985年(昭和60年) 日展特選受賞《座像》
- 1997年(平成7年) 岡山大学教育学部教授就任(~2007年)
- 1999年(平成11年) 西山松生絵塾(鯖江市文化課)以降毎年開催(~2019年)
- 2005年(平成17年) 日展審査員 翌2006年日展会員
- 2010年(平成22年) 光風会理事
- 2020年(令和2年) 光風会名誉会員
- 2024年(令和6年) 8月30日死去(83歳)



### アクセス

- 鉄道 ▶ 福井鉄道福武線(西山公園駅)から徒歩5分
- バス ▶ ハビラインふくい鯖江駅よりつつじバス循環線(市役所)から徒歩3分
- 車 ▶ ハビラインふくい鯖江駅から約5分  
鯖江ICから約5分

### 鯖江市まなべの館

鯖江市教育委員会文化課  
〒916-0024  
福井県鯖江市長泉寺町1-9-20  
Tel 0778-51-5999-0778-53-2257  
Fax 0778-54-7123

Sabae Manabe Museum

©2026 Sabae Manabe Museum Printed in Japan